



カケハシ・プロジェクト（招へいプログラム）の記録 対象：若手研究者1陣（米国）

1. プログラム概要

米国から若手研究者38名が2020年1月7日～1月14日の日程で来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。講義、視察、日本人との交流などを通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、各々の関心事項や体験についてSNSを通じて対外発信を行いました。

【参加国・人数】

米国：38名

（内訳）

グループA(12名)：ペンシルバニア大学

グループB(16名)：ジョージ・ワシントン大学／ジョンズ・ホプキンス大学

グループC(10名)：シンクタンク関係者

【訪問地】

東京都（全員）、広島県（グループA）、茨城県・京都府・滋賀県（グループB）、沖縄県（グループC）

2. 日程

	(1) グループA: 広島県	(2) グループB: 茨城県・京都府・滋賀県	(3) グループC: 沖縄県
1/7 (火)	【来日】		【来日】 【オリエンテーション】
1/8 (水)	【オリエンテーション】 【歓迎挨拶】 外務省北米第一課長 藤本 健太郎氏 【講義】 防衛省日米防衛協力課		【ブリーフィング】 外務省北米第一課長 藤本健太郎氏 【ブリーフィング】 在日米国大使館 【ブリーフィング】 防衛省日米防衛協力課 【視察】 東京都庁展望室
	【視察】 明治神宮・原宿	【視察】 JAXA 筑波宇宙センター	
1/9 (木)	【視察】 深川江戸資料館 【学校交流】 上智大学	【意見交換】 朝日新聞社編集委員兼論説委員 国分 高史氏 【学校交流】 早稲田大学国際学術院	【視察】 迎賓館赤坂離宮 【視察】 豊島屋酒造

		【懇親会】 在日ジョージ・ワシントン大学同窓組織	
1/10 (金)	東京都から広島県へ移動 【講義】株式会社 mint(スタートアップ 支援団体・ベンチャー 企業) 【文化体験】被爆遺産巡 り・平和記念公園	【視察】江戸東京博物館 東京都から滋賀県へ移動 【ホームステイ対面式】	東京都から沖縄県へ移動 【視察】沖縄科学技術大 学院大学
1/11 (土)	【講義】被爆体験講話 【視察】広島平和記念資 料館 【ホームステイ対面式】 【ホームステイ】山県郡 安芸太田町	【視察】あいとうエコプ ラザ菜の花館 【ホームステイ】東近江 市	【視察】琉球神社 波上宮 【ホームステイ対面式】 【ホームステイ】島尻郡 八重瀬町
1/12 (日)	【ホームステイ歓送会】 【視察】宮島	【ホームステイ歓送会】 滋賀県から京都府へ移動 【視察】金閣寺・錦市場・ 八坂神社	【ホームステイ歓送会】 【講義】戦争体験講話 【視察】沖縄県平和祈念 資料館・平和祈念公園
1/13 (月)	広島県から東京都へ移動 【視察】浅草寺・仲見世 【文化体験】茶道 【先端技術体験】森ビル デジタルアート ミュ ージアム(エプソン チームラボ ボーダレ ス)	京都府から東京都へ移動 【視察】皇居・二重橋 【視察】東京国立博物館	沖縄県から東京都へ移動 【視察】浅草寺・仲見世 【文化体験】茶道
1/14 (火)	【視察】国会議事堂 【離日】	【視察】都内個別訪問 【離日】	【視察】米軍横田基地 【離日】

3. プログラム記録写真

グループA（訪問地：東京都・広島県）



1/8【講義】防衛省防衛政策局日米防衛協力課



1/9【学校交流】上智大学



1/10【講義】株式会社 mint(スタートアップ支援団体・ベンチャー企業)



1/11【講義】被爆体験講話



1/12【視察】宮島



1/13【文化体験】茶道

グループB（訪問地：東京都・茨城県・京都府・滋賀県）



1/8【視察】JAXA 筑波宇宙センター



1/9【意見交換】朝日新聞社編集委員兼論
説委員 国分 高史 氏



1/9【学校交流】早稲田大学国際学術院



1/10【視察】江戸東京博物館



1/11【ホームステイ】



1/12【視察】金閣寺

グループC（東京都・沖縄県）



1/8【ブリーフィング】外務省北米第一課長 藤本 健太郎 氏



1/9【視察】豊島屋酒造



1/10【視察】沖縄科学技術大学院大学



1/11【視察】波上宮



1/12【ホームステイ歓送会】



1/12【講義】戦争体験講話

4. 参加者の感想（抜粋）

グループA（訪問地：広島県）

◆ 大学生

広島平和記念資料館とホームステイ、どちらも本当に素晴らしい経験でしたが、特に平和記念資料館は今までにないほど心を揺さぶられました。このような経験をできたことに感謝します。私は、日本で習った伝統的な食事（焼きそばや寿司）を家族や友人のために作るだけではなく、カケハシ・プロジェクトと一緒に過ごしたグループの仲間と頻繁に会って、今後も関係を続けたいと思っています。上智大学教授の講義はとても印

象的でした。先生が多くの準備をしてくださって、必要な内容すべてを丁寧に説明してくださいました。また、日本人の新しい友達に出会えたことは最も貴重な経験でした。私は大学を案内してくださった方と友達になり、彼女はプログラム後、都内を案内してくれました。今後も彼女との交流は続くと思います。株式会社 mint が運営する Sokoiko の石飛聡司さんは、強い印象を残してくれました。彼はとてもエネルギッシュで、活力にあふれており、広島に観光をもたらすというプレゼンとその情熱に魅了されました。私のホストファミリーは、また再会したいと思える最高の方たちでした。彼らはちょっと控えめでしたが、オープンかつ親切で、ユーモアがありました。なんとなく私自身の両親を思い出させる人たちで、彼らとの思い出を大切に胸にしまっておきます。広島のサイクリングツアーは宮島（野生のシカもすごかったですね！）と広島平和記念資料館に行き、どちらも同じくらい感動しました。私は東京が好きでしたが、今回初めて広島に行き、これまでと全く違った新しい視点を持つことができました。

グループ B（訪問地：茨城県・京都府・滋賀県）

◆ 大学院生

防衛省のブリーフィングが特に良かったです。大学院で防衛と安全保障を学んでいますが、実際に省庁の人から関連情報を聞いたことでより実感がわきました。大学院生（早稲田大学院アジア太平洋研究科）がどの様に感じているかを知ったことも有益でした。彼らも私達と同様の問題に関し解決策を模索していることが分かりました。政府と企業への視察が一番印象的でした。日本の省庁や政府機関について勉強しているので実際に訪問してそこで働いている方々と交流できたことは本当に貴重な体験でした。米国では、これに相当する政府機関（例えばアメリカ航空宇宙局）には行ったことすらありません。滋賀県でのホームステイでは、東京以外の地域での日本人の暮らしやお寺、着物、太鼓など日本社会のより伝統的な面を学びました。お互い交流をとおしてそれぞれの経験や考え方を共有できたことが一番印象に残っています。地域の持続性（東近江市資源循環型地域づくり）についての講義はとても良かったです。新しい人々と出会い、意見交換を行い、ホストファミリーと親交出来たことは素晴らしい経験でした。ずっと連絡を取って行きたいと思っています。日本の文化、日本人の生活の様子を目の当たりに体験できたことは本当に驚きでした。

グループ C（訪問地：東京都・沖縄県）

◆ 社会人

沖縄戦の講話は、心を動かされ、この内容に関して、引き続き関心を寄せていこうと思いました。外務省、防衛省、米国大使館と横田基地への訪問は有意義でした。講義でたくさんの知識を得ました。日本の行政機関と米国の政府機関は、私達を快く受け入れてくれました。日本の防衛政策とその方針がどのようになっているのかを学ぶことは大変興味深かったです。沖縄でのホームステイは現地の人々の視点から沖縄を知る素晴らしい機会でした。一般家庭で（文化や言語の壁を超えて）現地の人と繋がる機会が持てたことは大変意義のあることでした。カケハシ・プロジェクトは素晴らしい経験でした。総じて文化体験が一番良かったです。沖縄の歴史と浅草の茶道体験、浅草寺散策が特に

興味深く忘れられないプログラムになりました。今後私の所属機関だけではなく、家族や友人にカケハシ・プロジェクトでの体験を共有したいと思います。

5. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 学校交流参加学生

日米関係での経済協定、移民問題や文化の違いについての講義があり、その後はグループディスカッションをペンシルバニア大学の学生と行いました。ペンシルバニア大学から来られた学生は皆、興味津々でたくさんの質問をして、とても良いディスカッションになりました。特に、日本とアメリカの若者の政治に対する関心度、高齢化による人手不足、また移民問題について語り合い、真剣に考える機会になりました。ディスカッションの後は上智大学のキャンパスツアーを行い、ペンシルバニア大学に留学していた時の思い出話や学生生活について話す機会があり、楽しくかつ有意義な時間を過ごすことが出来ました。

◆ ホストファミリー

言葉が通じなくとも、スマートフォンアプリを使い会話ができて何とかなるものだと思います。こんなに仲良くなれたのは、今までにありませんでした。どんどん日本の田舎に生活体験をしに来ていただきたいと思っています。少しでも国際交流につながっていくことができれば今後も喜んで受け入れていきたいです。

◆ ホストファミリー

お天気がよかったので沖縄のきれいな海の色を見て、嬉しがっている様子にこちらも嬉しくなりました。ギョーザ作りをしたのですが、最初は不細工な出来で皆で大笑いしました。沖縄の方言である「ちゅらかーぎ（美人）」、「やなかーぎ（不細工）」の言葉を教えたら喜んでいました。

6. 参加者の対外発信

Britney Firmin is in Hiroshima. 5 hrs · 🌐

Yesterday I toured through Hiroshima, one of the two cities in Japan nearly decimated by the atomic bomb set off by the U.S during World War II. From 8/6/1945 onward, A-bomb survivors literally had to rebuild this city from the ground up. Hiroshima is nicknamed the "city of the Phoenix" for this very reason, because of the way that survivors rose from the ashes. #Kakehashi2019

Judy Ly is with Gwen Mazzotta in Higashimori. Yesterday at 10:17 AM · 🌐

We spent this weekend in Higashimori, Shiga Prefecture. It was an immersive experience and we were fortunate to stay with our wonderful host family! Our host family took us on neighborhood walks, their rice fields, gardens, and local shrines. As seen in previous post, we made bean bags with our obaachan. #kakehashiproject #WeAreElliott

文化体験についての発信 (Facebook)

昨日私は、第二次世界大戦中、米国による原爆投下でほぼ壊滅した二つの都市のうちの一つ、広島を巡りました。1945年8月6日以後、原爆を生き延びた人たちはこの街を文字通りゼロから再建しなければなりません。広島の人々が焼け跡から見事によみがえったことから、この街は「不死鳥の街」と呼ばれています。

ホームステイについての発信 (Facebook)

週末をここ、滋賀県東近江市で過ごしました。最高の経験で素晴らしいホストファミリーに恵まれて本当に幸運でした。ホストファミリーの田んぼ、庭、地域の神社など近所の色々な所に連れて行ってもらいました。この前の投稿のようにおばあちゃんとお手玉作りもしました。

[illegible]

視察についての発信 (Facebook)

今日の午後、日本の宇宙航空開発機構 (JAXA) を訪問しました。日本の貢献が国

ホームステイについての発信

(Instagram)

私のグループは、地方プログラムで沖縄

際宇宙ステーションでの実験領域の確保に欠かせなかったことと、その領域で行われた実験のおかげで地上での生活に様々な恩恵をもたらしたことを学びました。	県に行き、数家庭に分かれ、ホームステイ体験をしました。私を含めて３人が農業を営んでいるホストファミリーにお世話になりました。伝統の中で培われた活気のある沖縄文化を実際に触れることができ、本当に夢のような体験でした。お母さんが家族経営の農園に連れていってくれてえんどう豆の収穫を手伝いました。沖縄にはたくさんのビーチがありますが、その一か所を訪れ、珍しい（形の）夕日を見ました。次の日の朝の別れの前に、お母さんが沖縄の伝統舞踊を教えてくださいました。歓送会で皆の前でお母さんに教えてもらった沖縄の伝統舞踊を披露しました。短いホームステイプログラムはこうして終わってしまいましたが、お母さん・お父さんと過ごした思い出を大切にしていきます。
--	--